

第1回小矢部川流域有識者会議 議事要旨

開催日時：平成21年3月17日（火）15:00～17:00

場 所：(財)高岡地域地場産業センター 5F「小ホール」

議事次第：1. 開 会

2. 挨拶

3. 出席者の紹介

4. 設立趣旨、規約及び運営方針について

5. 座長の選出

6. 議 事

①河川整備基本方針、河川整備計画について

②有識者会議について

③小矢部川と流域の概要と河川整備基本方針の概要について

7. 閉 会

○小矢部川流域有識者会議の設立趣意書（案）について

・原案のとおり承認された。

○小矢部川流域有識者会議規約（案）について

・原案のとおり承認された。

○小矢部川流域有識者会議運営方針（案）について

・原案のとおり承認された。

○座長選出

・規約第6条に基づき、座長に玉井 信行 金沢学院大学大学院教授を選出した。

○議事

①河川整備基本方針、河川整備計画について

②有識者会議について

③小矢部川と流域の概要と河川整備基本方針の概要について

【主な意見】

【小矢部川と流域の概要と河川整備基本方針の概要について】

（委員 A）

➤ 下流には多数の排水樋管があるが、排水管からの排水量はトータルでどの程度になるのか。

（事務局）

➤ 手元に数値がないため次回整理して説明する。

(委員 B)

- 説明資料の植物の写真はミクリではなく、ナガエミクリではないか。一度確認していただきたい。
- 貴重なウマノスズクサやジャコウアゲハなど従来から話題になっているものが説明されており、いいと思う。
- 河床勾配比較図で常願寺川と黒部川についても源流付近の勾配まで表示していただきたい。

(座長)

- 河床勾配は氾濫特性にも密接に関係してくるので、今後の具体的な施策や計画に十分反映していただきたい。

(事務局)

- ミクリについて種の確認を行う。
- 小矢部川の特徴は緩流河川であるため、この部分を整備計画にまとめる際にも留意したい。

(委員 C)

- 正常流量と維持流量の見方について教えていただきたい。
- 小矢部大堰で取水すると必要な維持流量は確保できるのか。

(座長)

- 小矢部大堰の運用規則にも関係してくるように思えるが。

(事務局)

- 10年に1回程度の濁水に $5.4\text{m}^3/\text{s}$ 程度になっている。
- 過去の実績に基づいての統計値であり、小矢部大堰はさらに前から運用されているため、小矢部大堰の運用を踏まえた値となっている。

(委員 D)

- 小矢部川の水質は最近きれいになったように感じているが、他河川と比較した場合ではまだ悪い結果となっている。全国の河川と比較して小矢部川が135位~140位程度となっているが、全国の河川はいくつ程度あるのか。

(事務局)

- 国が管理している水系では109であるが、河川としては166河川である。

(座長)

- 相対的にみると小矢部川の水質はあまりいい状態ではないということか。

(事務局)

- 小矢部川のどの地点での結果となっているか次回までに確認させていただきたい。

(委員A)

- 下流側は生活排水の流入等、水質にかなり影響しているのではないか。水質は1箇所と比較するのではなく、2箇所と比較していただきたい。上流の方はもっときれいなはずである。

(座長)

- 水質基準点や観測地点の分布はどうなっているのか

(事務局)

- 今河口から津沢大橋までに数点で観測しているが、さらに上流でも富山県の方で観測していると思う。
- ランキングのデータについては次回説明時にデータを揃えて詳しく説明したい。

(委員E)

- 流量配分図で支川流入量を加算しても下流の流量と合わない。何か取水施設とかの影響なのか。

(事務局)

- 小矢部川のピーク流量と支川のピーク流量に合流の時差が発生しているため、単純に足すわけではない。

(委員A)

- 水質の環境基準のタイプは見直しの対象にはならないのか。
- 「流水の清潔の保持」に必要な流量が少ないように思えるが、本当にそうなのか。

(事務局)

- 水質のタイプ指定は水質汚濁防止法第16条で各県知事が決定することになっている。現状レベルを把握した上で設定するもので、県知事が区間毎に決めた数値なので、我々として意見を申し上げることはできるが、この場で議論して変えることはできないと思う。
- タイプ指定したときには水質が悪化していたため、タイプ指定基準がCタイプやDタイプになっているものだと思う。水質が改善されているため、実態とは少し離れてきている部分はあるかと思う。
- 県の方では毎年見直すことはないが、環境審議会等でタイプ指定を見直すことも検討されていると聞いている。

- 「流水の清潔の保持」に必要な流量は、もともとの河川水がきれいであれば本来なら必要ない流量である。河川への流入水が汚い場合に必要となる。そのため、流入水の水質が比較的きれいであると理解していただければと思う。

(座長)

- 排水樋管の流入状況と併せて補足していただければと思う。

－ 以上 －